

日本大学工学部ものづくりアドバイザー カタログ

- ・ 氏名 ・ 片岡 則之（51歳）
- ・ 現職 ・ 日本大学工学部 機械工学科 資格 教授
・ 主な講義科目 生体計測装置学、医用機器学 生理学、解剖学
- ・ 前職 ・ 川崎医療福祉大学医療技術学部 細胞の力学特性計測、細胞内タンパク挙動の実時間解析、生細胞の3次元実時間挙動解析



・ 研究のモットー

・ 生体計測技術や治療技術の根幹には、生体機能の細胞・分子レベルの解析が重要だと考えています。そのためには、様々な顕微鏡装置や画像解析システムが必要となります。一方、血管病変を中心に、各種の疾患には、生体内の力学現象が深く関与しています。力学をベースに、細胞・分子レベルでの生体機能の解明を目指しています。

企業等との連携実績および連携関心分野

・ 実績（～H28）

なし

・ 関心分野

- 動脈硬化：動脈硬化発生に関わる血流の影響
- ガン転移：ガンの血管を介した転移メカニズムの解明
- 細胞の遊走機能解析のためのマイクロチャンバー開発
- その他

研究分野：細胞・分子のバイオメカニクス

- ・ 動脈硬化発生に関わる血流の影響
- ・ ガンの血管を介した転移メカニズムの解明
- ・ 細胞の遊走機能解析のためのマイクロチャンバー開発

今後力を入りたい分野

- ・ ガン転移培養モデルを用いたガン転移抑制因子の解明
- ・ 細胞機能解析のための、マイクロチャンバー開発